



学校教育目標 やる気 思いやり げん気	★霞ヶ関南小学校はこんな学校を目指します★ 目指す学校像 学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できる学校 目指す児童像 学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できる児童 目指す教職員像 学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できるよう導く教師
児童のキャッチフレーズ ～ み んな な かまだ み んないい～	

「できた！」の積み重ね ～少しよくなって帰ります～

校長 松本 礼香

5月15日、全校遠足を実施しました。縦割り班で異学年の友達と関わりながら遊び、一緒に活動する中で、子供たちは多くの学びと成長の姿を見せてくれました。今回の遠足は、楽しい思い出づくりだけでなく、一人一人が「自分にできたこと」を重ね、自らの成長につながる機会にもなったと感じています。

「自分自身の成長」という視点では、子供たちが自分から行動しようとする姿が多く見られました。「最後まで歩くことができた」「自分の役割に取り組むことができた」など、それぞれが小さな挑戦を積み重ねていました。子供の成長は、目に見える大きな変化だけではなく「前より少しできた」という小さな前進の積み重ねの中にあると考えます。

次に「仲間との関わり」という視点では、上級生が下級生の歩く速さに合わせたり、困っている友達に声をかけたりする様子、また下級生が安心して上級生を頼りながら活動する姿がありました。「友達と一緒にだから頑張ることができた」「誰かのために行動することができた」という経験は、人とのつながりの中で自分の力を広げていく大切な学びです。

さらに「集団の一員としての成長」という視点でも成果が見られました。時刻を意識して行動すること、約束やルールを守りながら楽しく過ごすことなど、楽しい活動の中でも周りを意識し、自分で考えて行動する姿が見られました。一人一人の行動が、みんなの安心や楽しさにつながることを実感できた一日になったことと思います。

子供たちの成長を見ていると、「自立」とは、一人で何でもできることではなく、自分で考え、行動しようとする力を少しずつ身に付けていくことなのだと感じます。そして、その成長は大きな変化として表れるだけでなく、「最後まで頑張ることができた」「誰かのために動くことができた」といった小さな「できた！」の積み重ねの中にあります。しかし、子供自身は、その成長に気付きにくいことがあります。だからこそ私たち大人が、「できたね」「前より成長しているね」と具体的に言葉にしながら、その歩みを見取り、支えていくことが大切だと考えています。大きく変わるだけが成長ではありません。昨日の自分より少し挑戦できた、少し優しくなった、少し自分で考えて行動できた——その積み重ねこそが、自立へとつながる確かな一歩です。今回の遠足で得た「できた！」を自信にして、子供たちが「今日より明日、来た時よりも帰る時に少しよくなった自分」に出会いながら、仲間とともに笑顔で成長を重ねていくことができるよう、全職員で子供たちを支えて参ります。

6月3日のお話集会では、生徒指導主任から「霞ヶ関南小の子は、来たときよりも少しよくなって帰ります」という話をします。普段の学習への取り組み方、係活動や当番活動に粘り強く取り組むこと、小さなことでもコツコツと積み重ねることの大切さについて話をする予定です。是非、ご家庭でも「今日はどんなことをして、少しよくなって帰って来ることができた？」と話題にしてみてください。近くにいる大人が「できたね」「前より成長しているね」と意識的に言葉にして子供たちを褒め、認めながら育てていくことができれば幸いです。